

1991 今月の一笑
3月

ひ ひなあられ
な 菜の花とともに
ま まつりましょ
つ つまみましょ、と
り 隣人が来る (大阪市/数井千代子)

3年3月3日3時33分33秒。

日本人の殆どはぐっすりと寝入っていた。

この日は日曜の大安とあって、各地の結婚式場はニャンニャコマイ(猫の手を借りたい程の忙しさを表す言葉。8、9年前に流行ったが、今では殆ど使われなくなった)という状況で、お昼頃のテレビは、視聴者に「このふたりなら幸せになってもらいたいな」と思われるようなカップルを選んで映し出していた。不精してチャンネルを切り換えずにいると、一日中同じカップルを見ることになり親近感を感じる気持ちになった人もいたかも知れない。

昭和33年に完成した東京タワーは高さは丁度(?)333メートルで、今年が33周年に当たるとのこと。それを記念して、3月3日に行った記念イベントでは3、333本の菜の花を来場者に配ったというニュースもありました。皆さん苦勞して、企画しています。なかには三三(散々)な結果に終わったものがあるかもしれません。

来年は4年4月4日、再来年は5年5月5日・・・12年12月12日まで、残り9回楽しめます。頑張りましょう。

先月に続いて、読者の皆さんの手紙の中から、幾つか笑介致します。

まずは、これまで意外にも投稿のなかった替歌です。横浜市/門口泰宣さんの作品です。「毎月の会報を楽しく読ませて戴いております。いつかは例会にも出席したいと思っておりますが、取り敢えずは投稿参加させて戴きます。小生は特に“替歌”づくりに関心を持っております。その習作を一曲披露させて戴きます」

♪『哀愁列車』替歌
ほされてほされて ほされていながらいる俺に
恥をかかせる島流し つらい辞令の日が来たが
出世心につまづいて 流す涙の転動列車

(一寸暗かったかな。次回は元気の出る歌を送って下さい。ほすのはふとんや洗濯物です)

気分一新という訳で、元気な元気な甲府の独居艶人(市川きよみ)さんからのご便りです。

ジョークに磨き(美我輝)をかけたいと/独り(火鳥)住まいの私が/頼(便)りし先は同業会/世の灯(友知美)となりますよう/輪(和)の拡がり(披露画里)を願いつつ/エンジン(艶人)かけて蓼科で/好き好きスキー! と遊びけり

(直滑降に斜滑降うまく滑れず不格好、スキーのあとはウィスキー)

昨年11月の例会に参加の東久留米市／横浜通雄さんからは「今年は羊年、何か作品をと思ひ羊を一頭づつ数えて眠りながら、四文字熟語の一つから“狗”を替えて作った苦作です」

基本：羊頭狗肉(ヨウトウクニク) 見かけだけ立派にして実質が伴わないこと。

替1：羊頭皮肉(ヨウトウヒク) 羊料理のフルコース。(頭から皮から肉まで全て食用に……)

替2：羊頭贅肉(ヨウトウゼニク) 羊毛を身に着けた中年肥りのオバタリアン。

替3：羊頭焼肉(ヨウトウヤキク) ジンギスカン料理。平凡なるも美味い。

替4：羊頭売肉(ヨウトウバイク) 毛皮のみならず肉までウール(売一る)。大出血サービス。

その他、羊頭苦肉・羊頭挽肉・羊頭弱肉等があるそうです。

久し振りです。『サラリーマンことわざ笑辞典(17)～(25)』(作：曾田英夫)の披露です。左のことわざが元々のもの。⇒右がサラリーマン向けです。

金は天下のまわりもの⇒ポストは天下のまわりもの

壁に耳あり⇒喫茶店に耳あり(▷ホッとしたとき、何気なく発した一言を隣の誰かが聞いているヨ。他に⇒顔にキズあり、⇒背中に哀愁あり、⇒ミスに左遷あり、⇒人事に穴あり、等々)

果報は寝て待て⇒家内は寝て待て／⇒人事は寝て待て(▷何でも寝て待つのである)

かゆいところに手のとどく⇒高いところに手のとどく(▷今時の新入社員は背が高い)／⇒かわいお尻に手のとどく(▷エッチ)／⇒危ないところに手はとどく(▷ヤバイ)

借りるときのえびす顔、返すときのえんま顔⇒ボーナス貰ってえびす顔、借金返せずえんま顔
川口で船をわる⇒考査の前に成績を割る(▷もとの意味は、成功直前で失敗すること、決して埼玉県川口市で船を壊すということではありません)

川向こうの火事⇒他社の事件(▷はっきり言って、我が身と関係ない)

買われたけんかは七分の損⇒買われた保険は事故で損／⇒買われた商品はクレームで損

頑固な人は頑固な病気にかかる⇒頑固な人は頑固な上司につかえる(▷もとのことわざはドイツのもの。新しい意味は頑固な人が同じに職場に集まり、その結果うまく行かないということ)

頑固のロバに依怙地なヤギ⇒頑固の老婆に依怙地なヤング(▷OLの世界はベテランとヤングでは始末に終えなくなる、ということ。湾岸戦争の時は、頑固のイラクに依怙地なヤンキー、という場面もあった)

寛如は正義の一部分である⇒ゴマスリは仕事の一部分である(もとの意味は、心を広く持つことは正義の行いの一部分である、というもの)

艱難に耐え得る者は多いが軽蔑に耐える者は少ない⇒残業に耐え得る者は多いが3Kに耐える者は少ない(3Kとは、きけん・きつい・きたないの略称であり、更にこわい・くらいが加わると5Kとなる。現代の若い人には3Kや5Kは敬遠される一方、3DKや5LDKは夢のような物になりつつある)

キジも鳴かざれば撃たれまい⇒ウワサも立たずば打たれまい

新潮文庫の新刊で「果報は練って待てー明日を切り拓く逆転ことわざ 100ー」(邑井 操著)を見つけました。曾田さんとは少し発想を変えて作られたようなことわざが出ています。お近くの書店で購入され、参考にして下さい。

『如是我聞』（平成三年二月二十二日 神山南朝作）

★ 御飯を一口食べてから、長女が
「そうだ、お菓飲まなくちゃ」と言って、何やら錠剤を取り出した。
皆が呆気にとられていると
「だって、薬袋にく食間>って書いてあるんだもの」

★★★ご近所の奥さんがご主人の晩酌について話していた。
「うちのはカマスと言うのを飲んでいるわ」
「カマス？ 何よそれ、カボスじゃない？」
「ううん、カマスよ」
「カマス酒なんて聞かないわね、それ日本酒？」
「洋酒よ。英語で<CAMUS>ってちゃんと書いてあるもの」
そこまで来て、皆、実はカミュのことだったのだと納得したらしく
「あぁ、あのカマスね」と言って、しばらく笑っておりました。

★★ 「湾岸戦争に自衛隊が小火器を持って参加する話があった。
小火器とは、小銃や機関銃のような着弾距離の長いものではなく、拳銃程度のものを
指すらしい。それも一人一丁に限るそうだ。何故かと言うと
「ワンガン戦争だから」
してみるとミサイルなんてもっての他ですな。

（小火器は取り止めても、早く消火器を運んで貰いたいものです）

いつも、例会参加者の中に名前があるが、ついぞ作品が載ったことが無いという豊田洋代さんが作品を持参しましたので、何はさておいても掲載します。冬のヨーロッパへの旅から無事に帰り、早速九州に住むお母さんと電話で取り交わした会話です。

「お母さん、オランダじゃ、十時ごろ夜が明けて、三時ごろ日が暮れるのよ」
「そりゃよかじゃなかか、働く時間がみじこうてすむが」

「モスクーで乗り換えるとき、案内がなかったのが大変だったのよ。ロシアの人は、あんまり働かんごたるよ」
「そげなこつがあるもんか、おまえ。共産主義ちゅうもんは、働かざる者食うべからず、ちゅうじゃなかか」

豊田さん曰く「おもろうて、やがて悲しき誤解かな」と。しかしながら、誤解は何回も話せばいつかは理解にも繋がります。最初はしょうがなかとですよ。

「モスクーでの乗り換えは、もすこーし気付くのが遅ければアウトだったわ」という豊田さんですが、本当にご苦労様。又、作品をお願いしたいですね。

2月22日盛り上がるばかりの例会報告。

レディーファースト（豊田洋代・平田レイ子・山口栄子・山口恵子・国本嘉寿子）

ゼントルメン（長井敏・奥村篤史・曾田英夫・神山徹・横山朝夫・植西国晃・野本浩一）

注. 下線の方は初参加。

【豊田】欧州帰りの応酬話法。

【平田】幼児に厳しく、用事教育。母「サー オクレル。早く カオ 洗イマシヨ。カオ、カオ、カオ、カオ！」息子「ソナニイッパイ カオ ナイヨ」（思い出だそうです）

【山口A】春日部(かか)から来て、かすかに笑う。

【山口K】恵子の稽古、今日は京橋。（遅れて来てもカンパをニッコリ出して下さるので、つられてついニッコリ頂く幹事です）

【国本】中学校の先生だそうです。今回は授業参観に来てみました、とのこと。

【長井】今回は「名賀善砂糖司〜新春の一発」が、出ました。

♠僕の妻は気持ちの大きい女性だ。湾岸戦費90億\$支出の新聞記事を読みながら「小銭を落とした昨日の夢は、正夢だったワ」

【奥村】朝日新聞「かたえくぼ」（2/3 掲載）投稿作品を再利用して、PRしました。このようなジョーク作品は今後リサイクルジョークと言うこととします。

♠『豆まき』 フクハウチ（福は家）

オニハウチ（お庭、家）

賃貸アパート住人

【曾田】『サラリーマンことわざ笑辞典(26)〜(28)』披露。（現在、推敲遂行中）

【神山】我思う、故に我在り。我笑う、故に『如是我聞』在り。

【横山】ビール券の寄付あり。食券も職権も上手に使えば、皆納得します。

【植西】四人家族の名前の笑介が突然ありまして、黒板に書いて説明。

植西香梨(かりん)	長女
紀文(きふみ)	長男
国晃(くにあき)	本人
恵子(けい)	妻

四人の名前に『か、き、く、け、こ』が隠されているという植西家伝説とか。結婚後、構想6年にして完成したという一大叙事詩とか。植西が行変格活用一家、と呼ぶそうです。

（あいうえ愛して愛されて、かきくけ毎日ラブレター、という歌を思い出しました）

【野本】『亭主を早死にさせる十ヶ条』（梅垣洋一郎さん作）のコピーを持参。

（逆説的警句になってます。いつか、改めて笑介出来れば、と思います）

4月の例会は26日です。少し間があります。どんどん作品を送って下さい。

同巢会から

同巢会会員の皆様へ

同巢会のサロン活動を盛り上げる為に、これまで実施されてきた各種サロンの他に、空いている時間を利用した、定例会の実施を募集します。

今の所、毎月第一週・第二週の夕刻が比較的空いているようですから、是非新企画の立案をお願い申し上げます。

伝笑鳩第18号

発行 1991. 3. 22

変集鳥 野本浩一

変集協力 曾田英夫

神山徹

横山朝夫

発行所 同巢会